



十一面観音立像 (椎名観音堂 平安時代)



文殊菩薩像 (金剛頂寺 鎌倉時代)



菩薩形立像 (1号像)
(名留川観音堂 法喜院所蔵 平安時代)



天部形立像 (馬路村・金林寺 平安時代)



阿彌陀如来坐像 (上郷阿彌陀堂 鎌倉時代)



六地藏 (笑い地藏) (定福寺 鎌倉時代)
画像提供: 高知県地域文化遺産共同調査・活用事業プロジェクト



箱車 (徳島・平等寺 大正12年)

「修行の道場」ともいわれるようになりました。
本展では大豊町定福寺六地藏(笑い地藏)、須崎
市・笹野大日堂大日如来坐像(いずれもNHKにつ
ぼん心の仏像100選)をはじめとして、土佐を代
表する仏像・仏画・考古遺物一二〇点あまりが出陳
されます。四国の遍路道はまさに《祈りの道》です。
土佐に残された本物の文化遺産と対話するひとと
きを、お過ごしいただければと思います。

古記録に「四国辺地」と呼ばれたように、四国
を周回する海辺の道、中でも太平洋に面して東西
に長く開かれた土佐の厳しい風土性は、いつしか

「遍路」として多くの人々を迎えてきました。
空海は、若き日に土佐の室戸岬において
「虚空蔵菩薩求聞持法」を修して、「明星来影」の
奇瑞を感じたと『三教指帰』の中で述べていま
す。本展では、特に空海ゆかりの地である土佐(高
知県)の「遍路」、そして「祈りの道」をテーマと
して、その原風景を体験していただきたく、古く
は考古学の時代から、現代にいたる遍路資料や土
佐の仏像、仏画などを一堂に集めました。

讃岐(香川県)に生まれた空海は、四十二歳の
ときに故郷・四国を巡錫したと伝えられます。そ
して今年、四国遍路は開創千二百年を迎えました。
空海がかつてたどったと伝えられる四国の道は、
「遍路道」として多くの人々を迎えてきました。

四国遍路と「祈り」の原風景

【関連イベント】

●講演会

各回会場：多摩美術大学美術館B1多目的室

各回定員：先着100名(聴講無料、但し入館料が必要です)

◆11月22日(土) 14時〜16時

「祈りの道へI・II」

I部「土佐、祈りの原風景」

青木淳(多摩美術大学・本展監修)

II部「霊場住職と語る《四国遍路》」

坂井智宏氏(第26番霊場 金剛頂寺住職・真言宗豊山派宗務総長)

◆12月7日(日) 14時〜16時

「土佐、古仏との対話」

青木淳

◆12月14日(日) 14時〜16時

「昭和の遍路と平成の遍路」

星野英紀氏(大正大学元学長・大正大学名誉教授)

◆12月21日(日) 14時〜16時

「発掘へんろー考古学から見えてきた高知の特色」

廣田佳久氏(高知県教育委員会文化財課専門企画員(文化財担当))

◆12月23日(火・祝) 14時〜16時

「野田麩寺出土埴仏の周辺」

淵田雄(多摩美術大学美術館学芸員)

◆2015年1月11日(日) 14時〜16時

「空海の時代―その歴史と造形―」

大橋一章氏(早稲田大学名誉教授)

●学芸員とのギャラリーツアー 各回13時〜14時

11月26日(水)、12月10日(水)、1月14日(水)

会場：多摩美術大学美術館展示室(参加無料、但し入館料が必要です)

監修：青木淳(多摩美術大学 日本美術史)

休館日◎毎週火曜日(但し12月23日は開館、翌24日(水)休館)・年末年始(12月28日〜1月6日)

開館時間◎10:00〜18:00(入館は17:30まで)

入館料◎一般300円(200円) 大・高校生200円(100円)

※()は20名以上の団体料金 障がい者および同伴者、中学生以下は無料

〒206-0033 東京都多摩市落合1-33-1

電話◎042-357-1251 本展特設サイト◎http://www.tamabi.ac.jp/museum/inorinomichihe/

交通◎多摩センター駅 徒歩7分(京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール)

撮影：大屋孝雄

表：大日如来坐像(須崎市・笹野大日堂 鎌倉時代)

